



南中だより

No. 10 令和元年 10月29日

伊丹市立南中学校長 柳井 泰司

心に届け 令和最初の第72回文化祭 **文イヒ祭**

令和元年10月24日（木）・25日（金）に第72回文化祭を開催しました。「笑顔輝く文化祭」の生徒会テーマをもとに取り組んできました。24日（木）の展示発表では、日頃の学習や部活動の成果が現れた表現豊かな作品でした。25日（金）は生徒会本部役員がハンドベルで「世界にひとつだけの花」を演奏した、オープニングセレモニーで幕を開けました。

午前の部の合唱コンクールでは、各クラスパートリーダーを中心に取り組んで練習してきた合唱を発表しました。1年生は緊張しながらも、合唱を楽しんだ「心あたたまる合唱」、2年生は言葉を丁寧に、そして表情豊かに唱う「成長が感じられる合唱」、3年生は観衆を魅了し、ウルッときた「聴き入ってしまう合唱」を聴かせてくれました。

午後の部の舞台発表は、3年（修学旅行）・1年（林間学校）・2年（トライやる・ウィーク）総合的な学習の発表、佛山市訪問報告、科学部、放送部、演劇部、吹奏楽部が発表を行いました。どの発表も、今まで一生懸命取り組んできた見事な発表でした。



合唱コンクールの受賞クラス



	金 賞	銀 賞
1 年	3 組「大切なもの」	5 組「広い世界が待っている」
2 年	2 組「HEIWAの鐘」	4 組「あなたへ」 ～旅立ちに寄せるメッセージ～
3 年	5 組「いま」	2 組「秋光」



校長講話 10月4日（金）7校時 全校集会

みなさん、こんにちは

さきほど、代表の生徒に認証状を授与しました。学校の活性化にはリーダーの役割と働きがとても重要になります。これからの南中学校を支えていくリーダーに協力していくことが、南中学校の発展に繋がります。クラスの皆さんはリーダーに協力して、みずから なかよく みがきあう南中生を目指してください。

今日は、「天網恢々（てんもうかいはい）疎（そ）にして漏（も）らさず」というお話をします。難しい漢字ですが、この言葉は中国の思想家の老子という人が言った古いことわざです。意味は天の意思は非常に公平で、どんな悪事でも逃がすことはない。悪事を働くと必ず罰せられる、ということです。天網（てんもう）とは、天が張り巡らした法の網。恢恢（かいはい）とは、広大である。疎（そ）とは粗（あら）い。という意味です。

天が張り巡らせた法の網の目は、隙間（すきま）だらけで粗（あら）いように思えるが、広大であり何一つ漏（も）らすことなく捕らえて逃がさない、ということから、このことわざは、簡単に言えば、「悪いことはするな、天はすべてお見通し」ということです。「少しくらいは悪いことをしてもいいだろう。どうせわかりっこない」と思ってもいつかはばれる。そうなってからはじめて「何でやってしまったんだろう」と思っても、あとのまつりで後悔ばかりが残ってしまったという経験をした人もいるかもしれません。「正直に生きて頑張っている大勢の人が損な役割を引き受け、少数のずるい人間が楽をする」そんないやな世の中にしないためにも、みんなでルールやマナーを守る事が大切です。学校内でも悪ふざけをして他人にケガをさせたり、持ってきてはいけない不要物をもってきたりなど、「ちょっとくらい」という心の隙間から生まれる悪い心を自分で規制できるように、また、やってしまいそうな人がいたら「そんなこと、やめた方がいい」と声をかけてあげることも大切なことです。

学校は楽しい場所、みんなが過ごしやすい場所にするためには、やはり一人ひとりの努力と全員の協力が必要だと思います。

「天網恢々疎にして漏らさず」このことわざを心に留めて生活をしてください。以上で終わります。